

戦略的プロジェクト研究推進事業

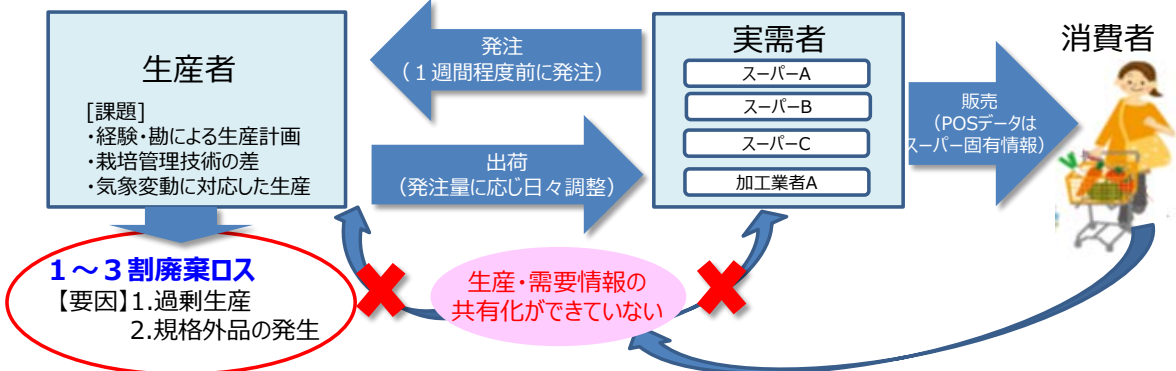
「A I を活用した食品における効率的な生産流通に向けた研究開発」

研究概要図

中課題番号	18064796
中課題名	A I を活用した食品における効率的な生産流通に向けた研究開発
研究実施期間	平成30年度～平成34年度（5年間）
代表機関	三菱ケミカル株式会社
研究開発責任者	吉田 重信
研究開発責任者 連絡先	TEL : 050-3139-3986
共同研究機関	国立大学法人名古屋大学 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 （野菜花き研究部門） 沖縄セルラー アグリ&マルシェ株式会社 パナソニック株式会社 ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社 ヤマトシステム開発株式会社 農業生産法人ベルファーム株式会社
農林水産省内 本事業担当	農林水産技術会議事務局研究統括官（生産技術）室 代表：03-3502-8111（内線5840）

研究課題名	AI を活用した食品における効率的な生産流通に向けた研究開発
-------	--------------------------------

## 廃棄ロス削減のための課題と必要な技術（現状）



廃棄ロス発生要因	課題	課題解決に必要な技術
1. 過剰生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験と勘等、大まかな情報による契約栽培と栽培計画</li> <li>・収穫日の予測ができない</li> <li>・出荷したい日に生育調整ができない</li> <li>・余剰品の販売先がない</li> </ul>	<p>① <b>流通情報収集システム</b> 生産～消費までの流通情報の共有化により需要に応じた契約栽培の最適化</p> <p>② <b>生育管理システム</b> 生育予測に基づく生育コントロール</p> <p>③ <b>生育予測モデル</b> 収穫日や供給可能量の予測による適時出荷の実現と余剰品の販路開拓に貢献</p>
2. 規格外品の発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高温時等の環境要因に対応した栽培最適化技術 葉菜類：高温時の過剰成長等 トマト：高温時の裂果、尻ぐされ等</li> </ul>	<p>② <b>生育管理システム</b> 高温時等の環境要因に対応した栽培最適化技術による歩留まり向上</p>

## 「AIを活用した食品における効率的な生産流通に向けた研究開発プロジェクト」の全体像

